

令和5年度医療事業部第2回研修会(報告)

主催 (公社)熊本県栄養士会 医療事業部

日時 令和5年10月21日(土) 13:00~16:30

会場名 Zoomミーティング

◇『あなたの関わり方が患者さんの行動を変える』

～栄養指導にコーチングを活用してみよう～

講師: 札幌保健医療大学保健医療学部栄養学科 教授 岡本智子 先生

今回の研修では Zoom を活用し、Web 上での講義及びグループワーク(2~3 人のグループに分かれての実践)が行われました。

まず、コーチングについて説明がありました。コーチングではクライアント(患者)自身もつ“思い”や“力”を引き出し、自ら主体的に行動が起こせるよう必要な知識やスキル、ツールが何であるのか考えてもらい、自身が出来ることを自身で決めることが重要とのことでした。

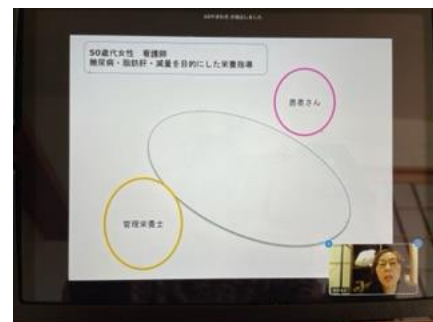
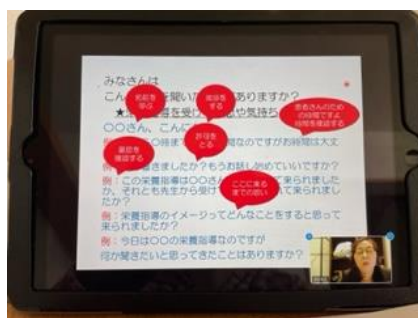
栄養指導の際、管理栄養士はつい「こうしてみてもはどうでしょう」主導権を握ってしまいがちですがあくまでも主役は患者であり、自身で決めた目標に対しては達成しやすい傾向とのお話もありました。

また、実際のコミュニケーションの場面においては、タイプ分け(個別対応型コミュニケーション)で、リーダー主導系(判断とスピード)、アイデア活動系(自由と影響力)、ヘルプ支援系(合意と貢献)、クール分析系(正確さとペース)の 4 つのタイプに分け、その特徴に応じて相手を具体的に観察・理解したうえで指導をすることでスムーズな指導につながるとのことでした。

☆グループワーク(Web でのグループワークは初めての取り組み)

『相手の話を聞くこと、「承認(褒めや賞賛だけでなく事実を認める)」される喜びを感じることを実際に体験!』“これまで頑張ってきたこと”について 1 人が話し、他 2 人はその内容に対し承認した上で意見を述べる。その後 2 人の承認の話(内容)を聞いた上でさらに最初の方が話をするという内容でした。実際にグループワークに取り組んでみて、初対面同士でしたが自分が話をし相手に承認してもらったことで、きちんと話を聞いてもらい自分の気持ちを受け取ってもらえたという喜びを実感することができました。

ご講演いただきました
岡本先生、貴重なご講演を
ありがとうございました。



Zoom を使用した岡本先生ご講演の様子